



大宮出張所前で宣伝する蔵田市議、迫府議(左端)と住民

## 1面の続き

大宮出張所廃止計画には、市民が怒りの声を上げています。

市は、庁舎の老朽化

や半径1・5キロの範囲内に4カ所の消防署・出張所があり、廃止しても影響は少ないことなどを理由に、同出張所の廃止方針を決定しました。



細い路地に住宅が並ぶ西陣地域

しかし、出張所が担当する西陣、成逸、乾隆、嘉楽、桃蘭、正親の6学区は、細い路地が多く、木造住宅が密集する地域。中でも正親学区は、市が木造密集市街地の中から「優先的に防災対策を進める地区」に選定しています。

地元住民らは、出張

所廃止は住民の生命・財産に直結する問題として「有志の会」を発足させました。昨年10月、説明会の開催を求める請願を議会に提出(日本共産党を除く賛成多数で、同年12月9日の本会議で不採択)。出張所の存続・充実を求める署名も開始しています。

12月23日には、出張所周辺で宣伝・署名行動に取り組みました。日本共産党の蔵田共子市議、迫祐仁府議と住民ら約20人が参加。「住民の声を聞かず、廃止強行は納得できません」と訴えました。

住民有志

# 大宮出張所廃止おかしい